

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-523307(P2020-523307A)  
 【公表日】令和2年8月6日(2020.8.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2020-031  
 【出願番号】特願2019-567306(P2019-567306)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 27/06 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/16 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 C 0 7 K 19/00 (2006.01)  
 C 0 7 K 14/475 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 27/06  
 A 6 1 K 38/16  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 C 0 7 K 19/00 Z N A  
 C 0 7 K 14/475

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月11日(2021.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項2】

前記治療がグレード3もしくは4の虹彩の血管新生(NVI)および/またはグレード3もしくは4の前房隅角の血管新生(NVA)を有することが立証されている対象に投与される、  
 請求項1に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項3】

前記治療が周辺虹彩前癒着および/または前房隅角の閉塞を有することが立証されている対象に投与される、  
 請求項1に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項4】

前記治療が、

i) 非抗体VEGFアンタゴニストの単回初回投与、

ii) 直前投与の5、6、7、8または9週間後に21mmHgを超えるIOPおよび前眼部血管新生の持続的または不完全な退縮を有することが立証されている対象に、直前投与の5、6、7、8、または9週間後に投与される1回または複数回の二次投与を前記対象に順次投与するステップを含む、

請求項1、2または3に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項5】

前記単回初回投与の5、8または9週間後に21mmHgを超えるIOPおよび前眼部血管新生の持続的または不完全な退縮を有することが立証されている前記対象に、前記単回初回投与の5、8または9週間後に1回の二次投与が投与される、

請求項4に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項6】

前記治療がIOP低下療法と組み合わせられる、

請求項1、2、3、4または5に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項7】

前記IOP低下療法が、

- ・炭酸脱水酵素阻害剤
- ・静脈内高浸透圧剤
- ・プロスタグランジン（PG）類似体
- ・交感神経遮断薬
- ・炭酸脱水酵素阻害剤（CAI）
- ・交感神経刺激薬
- ・Rhoキナーゼ阻害剤
- ・レーザー汎網膜光凝固
- ・レーザー虹彩切開術
- ・レーザー線維柱帯形成術
- ・眼内圧上昇を制御することを目的とした外科的処置
- ・眼内圧上昇を制御することを目的とした外科的処置としての線維柱帯切除術
- ・眼内圧上昇を制御することを目的とした装置、弁、または、シャントの埋め込み

の群から選択される、

請求項6に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項8】

前記非抗体VEGFアンタゴニストが、VEGF融合タンパク質またはアフリベルセプトを含む、

請求項1から7のいずれか一項に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

【請求項9】

前記非抗体VEGFアンタゴニストが、配列番号1の核酸配列によってコードされるVEGF融合タンパク質を含む、

請求項1から8のいずれか一項に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。

## 【請求項 10】

前記非抗体VEGFアンタゴニストが、（１）配列番号2のアミノ酸27～129を含むVEGFR1成分；（２）配列番号2のアミノ酸130～231を含むVEGFR2成分；および（３）配列番号2のアミノ酸232～457を含む多量体化成分を含むVEGF融合タンパク質を含む、

請求項1から8のいずれか一項に記載の

眼内圧上昇および前眼部血管新生を含むNVGの症状の治療に使用するための非抗体VEGFアンタゴニストを含む組成物。